

日本共産党

こんにちは

南畑さち代です

2006・7・2
連絡先
453-7758

新予防給付対象者の ベッド等の利用は継続を！



日本共産党 和歌山市会議員
南畑 さち代

市議会一般質問

新予防給付について

六月議会が六月一三日～三〇日まで開かれました。私の一般質問は一九日に行いました。介護保険の中の「新予防給付について」と「男女共同参画について」です。

四月から新予防給付が実施されている下で、サービス等が適切に行われているかを質問し、利用者の不安に応える施策が必要と要望しました。

質問一

予防重視型の制度改正で、予防プラン作成の遅れが生じることにならないか。

答え

居宅介護支援事業に委託することにより、対応に遅れがないように努めている。

質問二

軽度の方がベッド等の利用が制限されようとしていないか。今後、その影響をどう考えているか。

答え

経過措置として四月以前に利用していた人は九月末まで利用できるが、それ以降はできなくなる。例外はある。影響がどの程度発生するか留意していく。

質問三

相談や苦情への対応はどうなっているのか

答え

介護保険課の指導調整班および福祉保健総務課の指導監査班、また、包括支援センターでも実施している。それ以外は他部署や関係機関等と連携により、対応していく。

再質問

ベッド等の利用制限について影響があると想定した場合、経過措置後、どう取り組むのか。

答え

国の制限の動向に留意するとともに、他都市を参考にするなど、福祉施策全般を視野に入れて研究していく。

男女共同参画について

市長に質問

質問一

第二次事業計画の実施に取り組んで、どこまで到達されたと認識しているのか。また、市長としてイニシアティブをどのように発揮してこられたのか。

答 え
計画の効果的な推進を図るため、「男女共生推進会議」を設置して、会長として取り組んでいる。ようやく男女平等意識の高まりが感じられるようになってきた。しかし、子育て、介護など家庭生活への男女の参画、審議会、委員会など政策決定過程の場への女性の参画など、即

(裏面につづく)

くらし・福祉を守ってがんばる

奥村のり子を県政へ！

日本共産党演説会

ぜひお気軽にご参加ください

とき 七月一〇日(月)

午後七時三〇分開会

ところ ダイワロイネットホテル

弁士 元参議院議員

山下 芳生

党県医療・福祉対策委員長

奥村 のり子

効的な成果が見られない事業もある。全体として、ファミリー・サポート・センター事業など、順調に推移している。

関係部局に質問

質問一

第一次事業計画から第二次事業計画を策定するにあたり、努力した点はどのようなことか。

答え

平成一八年四月一日現在、二五一人で一六・五％。中核市の平均を上回っている。課長級以上の幹部職員への登用の土台もできあがりつつある。

質問二

社会問題として顕在化してきたDV問題、少子化問題などへの対策の推進を図っている。また、新しく取り組むべき分野として提示された防災、地域おこし、まちづくり、観光などに関する施策の研究・検討を行って

答え

平成一八年四月現在一九・九

一％。

質問三

付属機関などにおける女性委員がゼロの機関や委員兼職数の状況はどうなっているのか。

答え

付属機関七〇機関のうち七機関が女性委員ゼロとなっている。「委員選任に関する要綱」に定められた兼職数五件を越えている委員が一三人いる。委員選定の際には基準を守るように所管部署に働きかけていき



和歌山市長選挙 共産党は自主投票

日本共産党和歌山県委員会は 市民要求を実現してきたことを さいないという立場から、今回候 二三日、市役所内で会見し「見 評価しています。 補者を立てず、選挙後の市政に 解」を発表しました。 一方で、入院給食費助成の廃 対する態度も、是々非々の立場 止などについて「福祉の増進を でのぞむことを明らかにしまし 大橋市政について、財政破たん 図るといふ地方自治のもっとも 大問題」と批判し、 会見で竹内良平県委員長は 「石泉閣」事業の廃止など不公 大問題」と批判し、 「今回の市長選挙は自主投票で 正・乱脈・市政私物化の旅田市 今回 の市長選挙について、利す」と説明しました。 政の残滓(ざんし)を一掃し、 権・腐敗・乱脈市政の復活を許

こんにちは 奥村のり子です

六月二三日、県議補欠候補として記者発表しました。

今国会で、自民、公明両党の賛成で医療改悪法が可決・成立しました。訪問先で怒りの声がいっぱいです。

「金のないものは医者にかからなくてもええ、といっているようなもんだ」「介護保険料の通知をみてびっくりした。年金は減っているのに自己負担がど

対する不満の声も聞かれます。 県政も国言いなりで、お年寄りや障害者の医療費の補助制度を切り捨てています。



は減っているのに自己負担がど んどん増えていくばかりで、生 きていく楽しみがない」。ある 医療機関では「国は療養病床を 減らせというが、お年寄りの生 き場所を奪うことで職員の働き 場所もなくすことだ」と政治に ます。

無料生活法律相談

日時：7月 5日(水)
7月19日(水)
午後6時～7時
会場：河西診療所 2階

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時～12時
会場：南畑幸代市政研究所
・生活相談所
453-3418
善明寺411-4

お問い合わせ、申し込みは
南畑幸代まで
453-7758 (自宅) または
435-1113 (日本共産党市議団直通)